



2023年11月 現在

Fujitsu Software

Interstage Charset Manager Standard Edition Web入力 Agent V10.1.0

本商品は、Interstage Charset Manager Standard Editionと連携してWebブラウザ環境での外字表示/入力を可能とする、日本語処理基盤商品です。本商品を利用すると、従来のように外字ファイルや専用のアプリケーション等をクライアントへ配付せずに、Webブラウザのみで外字の表示/入力ができます。

- ・ サーバ

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMEQUEST 1000シリーズ / マルチベン
ダーサーバ・クライアント / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid
IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- ・ サーバ

Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64) / Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)

1. HTML5/CSS3に対応したWeb入力表示機能(JSVRFX) ()

HTML5/CSS3/JavaScriptを利用した入力表示機能を提供します。本機能を利用することにより、従来のWeb入力表示機能と比較し、次のことが可能になります。

- Microsoft Edge、Google Chromeに対応
- Android、iOSを搭載したスマートデバイスのブラウザーに対応
- HTML5アプリケーションでの利用
- MS-IMEなど一般的なかな漢字変換機能との併用

運用文字コードとして、Microsoft 日本語Unicodeセット(JIS2004ベース)またはUnicode-JEFコードのみ使用可能です。

2. Webサービス機能(JSVR-Webサービス)

クライアントプログラムから辞書検索APIを利用するためのWebサービスインターフェイスを提供します。Webページ(HTML文書)に限らず、.NETクライアント等から各種辞書の検索を行うことができます。

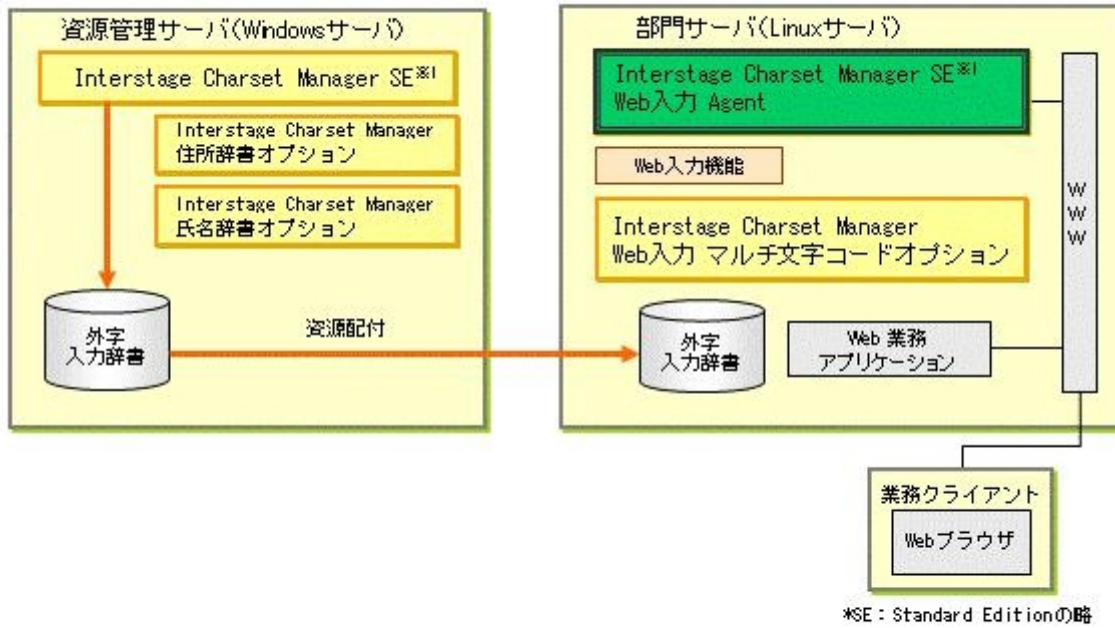
3. 運用文字コード

本商品では、下記文字コードの運用が可能です。

- ・ Microsoft 日本語シフトJISコードセット
- ・ Microsoft 日本語Unicodeセット(JIS90ベース)
- ・ Microsoft 日本語Unicodeセット(JIS2004ベース)

Interstage Charset Manager Web入力 マルチ文字コードオプション V10を利用することにより、下記文字コードで運用することもできます。

- ・ JEFコード
- ・ Unicode-JEFコード
- ・ KEISコード(日立)
- ・ JIPSコード(NEC)
- ・ DBCS-Hostコード(IBM)



V10.0.0からV10.1.0の機能強化項目は、以下のとおりです。

- 1. Interstage Charset Manager Standard Edition V10.1.0対応**
Interstage Charset Manager Standard Edition V10.1.0に対応しました。

- ・ **オンラインマニュアル**

- ・ Interstage Charset Manager Standard Edition Web入力 Agent V10 導入ガイド
- ・ Interstage Charset Manager Standard Edition Web入力 Agent V10 運用ガイド
- ・ Interstage Charset Manager Standard Edition Web入力 Agent V10 コマンドリファレンス

【メディア】

- ・ Interstage Charset Manager Standard Edition Web入力 Agent メディアパック (64bit) V10.1.0

【サブスクリプションライセンス/サポート】

[サブスクリプションライセンス/サポート(月額払い)]

- ・ Interstage Charset Manager Standard Edition Web入力 Agent プロセッサライセンス for Linux (SL&S)

[サブスクリプションライセンス/サポート(まとめ払い)]

- ・ Interstage Charset Manager Standard Edition Web入力 Agent プロセッサライセンス for Linux (SL&S) 7年

1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体（CD/DVD等）のみの提供です。使用権は許諾されておりませんので、別途、ライセンスを購入する必要があります。初回購入時には、最低1本のメディアパックとサブスクリプションライセンス/サポートを同時にご購入ください。

本メディアパックの購入でバージョンアップ/レベルアップすることはできません。

バージョンアップ/レベルアップする場合は本メディアパックを購入せず、アップグレード権を行使してメディアを入手してください。

2. プロセッサライセンスについて

プロセッサライセンスは、本商品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて以下のとおり必要となるライセンスです。

- ・シングルコアプロセッサの場合は、1プロセッサあたり1本の購入が必要です。
- ・マルチコアプロセッサの場合は、コアの総数に特定の係数を乗じた数（小数点以下端数切上げ）分のライセンスの購入が必要です。

マルチコアプロセッサにおける係数については、「関連URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）」内、「ライセンスについて、くわしく知る」を参照ください。

3. オプション商品の購入条件

WebアプリケーションでJEF/Unicode-JEF/KEIS/JIPS/DBCS-Hostコード運用を行う場合は、Interstage Charset Manager Web入力 マルチ文字コードオプション V10.0.0を購入してください。

4. V7.0以降からのバージョンアップ/レベルアップについて

V7.0以降の本商品をお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、最新バージョン/レベルを提供いたします。また、32ビット商品と64ビット商品間での切り替えも可能です。（お客様からのご要求が必要です。）

「SupportDesk」を導入されていない場合は、新バージョン/レベル商品を改めてご購入頂く必要があります（価格の優遇はございません）のでご注意ください。

なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SEにお問合せください。

5. V6.0以前からのバージョンアップについて

V6以前の本商品をお持ちの場合は、弊社営業/SE にお問い合わせください。

6. 購入時の特約事項

サブスクリプションライセンス/サポートの契約におけるライセンス使用条件の特約事項について記載します。

【V10.0.0以降】

(1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「運用系コンピュータ」といいます）と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「待機系コンピュータ」といいます）により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第（1）号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書に定めるライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

1. 本商品を利用するにあたり必須となる商品

- ・ Interstage Charset Manager Standard Edition (64bit) V10
- ・ サーブレットコンテナとして、以下のいずれかの製品が必要です。
- ・ Interstage Business Application Server Standard Edition (64bit) V13、または、Interstage Application Server Enterprise Edition (64bit) V13

なお、本商品のサポートにあたっては、サーブレットコンテナが正しく動作していることを条件といたします。

サーブレットコンテナの動作に関しましては、本商品のサポート範囲外になります。

2. JEF文字、ベンダ文字入力を利用する場合

- ・ Interstage Charset Manager Web入力 マルチ文字コードオプション V10.0.0

3. 外字申請運用を行う場合

- ・ Interstage Charset Manager Web入力 マルチ文字コードオプション V10.0.0

1. サポートキーボード

Webクライアント側でサポートするキーボードは「日本語キーボード」のみです。

1. Intel64環境での動作について

本商品は、以下のディストリビューションの環境で64ビットアプリケーションとして動作します。

- Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)

2. 使用環境

本商品は、アプリケーションサービスプロバイダー、アウトソーシングサービスでの利用はできません。

3. Java実行環境について

Interstage Application Server および Interstage Business Application Serverを使用する場合は、サブレットコンテナに応じたJava実行環境を使用してください。

4. Webブラウザについて

使用可能なWebブラウザは以下のとおりです。

- ・ Internet Explorer 11(1)(2)
- ・ Microsoft Edge(3)
- ・ Google Chrome
- ・ スマートデバイスに搭載されるWebブラウザ(4)
 - 1: ドキュメントモードが「Edge」または「11」の場合にのみ対応しています。
 - 2: デスクトップ上のInternet Explorer 11のみ対応しています。
 - 3: IEモードに対応しています。
 - 4: ブラウザーについては、9項を参照してください。

5. セキュリティに関する注意

インターネット上で秘匿性の高い情報を扱う場合は、接続にSSL を用いるとともに、Web サーバのログやクライアントのブラウザキャッシュに記録された本商品で入力・表示する文字コードおよび読みについての情報の取り扱いについては厳重にご注意ください。

6. Web入力表示機能で利用できる文字種について

(1) 運用文字コードにシフトJIS(MS)を利用する場合、SBCS(半角英数および半角カタカナ)は使用できません。

(2) 運用文字コードにUnicode(MS)を利用する場合、SBCSに該当する半角英数(基本ラテン)および半角カタカナは使用できますが、全角ピッチで表示されます。その他、一般的に半角で表現される文字についても、全角ピッチで表示されます。

(3) ホスト系の運用文字コード(JEF, KEIS, JIPS, DBCS-Host)では、EBCDICなどで表現される1バイト系文字は使用できません。

7. 書体について

本商品で出力される書体は明朝体です。ゴシック体など、その他の書体は出力できません。

8. 資源配付機能でIPv6アドレスを使用する場合

IPv6で通信を行う場合、IPv6/IPv4デュアルスタックで利用してください。

9. スマートデバイスでのご利用について

本商品のHTML5/CSS3に対応したWeb入力表示機能(JSVRFX)は、スマートデバイスでのブラウザを利用した運用に対応しています。

サポートブラウザ等の詳細情報は、「関連URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（スマートデバイスにおける動作条件）」を参照してください。

お客様向けURL

- **ソフトウェア：富士通（Interstage Charset Manager）**
本商品の詳細は、以下のホームページを参照してください。
<https://www.fujitsu.com/jp/software/interstage/charsetmgr/>
- **ソフトウェア：富士通（ソフトウェアの一覧表（システム構成図）と各種対応状況）**
価格/型名の一覧（システム構成図）を提供しております。
<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/configuration/>
- **ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）**
「ライセンスについて、くわしく知る」の項で富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポートポリシーなどの情報を提供しております。
<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>
- **ソフトウェア：富士通（スマートデバイスにおける動作条件）**
スマートデバイスでの動作条件情報を提供しております。
<https://www.fujitsu.com/jp/software/smartdevice/>